















































演習:Ex22-1

Ex15.zip内でmakeでコンパイルし、testVideoIO.cxx、

- DoGEdge.cxx、DoGEdge2.cxx、Style.cxxを動かしてみる. 連番画像の入出力: VideoIO.h void OpenVideo(char *入力フォルダー名, Image3D *R, Image3D *G, Image3D *B, int *sx, int *sy, int *st); void SaveVideo(char *出力フォルダー名, char * 出力 ファイル名, Image3D *R, Image3D *G, Image3D *B);
- / DoGEdge.cxx: DoGによるエッジ画像の作成: 引数3. /DoGEdge 畳み込み半径(int) DoG標準偏差(double) DoGバンド幅(double)
- 「./DoGEdge lena.bmp ex22_1_1.bmp 10 0.5 2」、 「./DoGEdge lena.bmp ex22_1_2.bmp 10 0.5 3」、
- 「./DoGEdge lena.bmp ex22_1_3.bmp 10 0.5 4」、
- 「./DoGEdge lena.bmp ex22_1_4.bmp 10 0.5 5」を実行して!

演習:Ex22-1



- DoGEdge2.cxx: DoGエッジと元画像の合成(引数3, DoGEdgeと同じ): DoGEdgeと同じパラメータで出力ファイ ル名を変えて実行してみましょう!
- Style.cxx: Artistic Stylization画像の作成(引数11). /Style 畳み込み半径(int) DoG標準偏差(double) DoGパンド幅(double) Bilateralフィルタ空間標準偏差(double) Bilateralフィルタ輝度標準偏差(double) Bilateralフィルタ 繰り返し回数(int) HSV量子化数(int) HSV量子化V強調パラメータ(double) RGB量子
- غرل Style lena.bmp ex22_st_1.bmp 0 0.5 3.0 25.0 0.1 3 16 0.7 4_ -./Style lena.bmp ex22_st_1.bmp 10 0.5 5.0 25.0 0.1 3 16 0.7 4」で実行 してみましょう!
- 自分の画像でDoGEdge.cxxとStyle.cxxをパラメータを調 節してスタイリッシュな画像にしてみてください.

演習:Ex22-2

DoGVideoEdge.cxxとDoGVideoEdge2.cxxを編集し、連番 画像のDoGエッジ動画を作成するプログラムを完成せよ. ヒント:ファイル内のコメントとDoGEdge.cxxをよく見てみて

 $g_{\sigma}(x,y) = \frac{1}{2\pi\sigma^2} \exp(-\frac{x^2 + y^2}{2\sigma^2})$ $g_h(t) = \frac{1}{\sqrt{2\pi h}} \exp(-\frac{t^2}{2h^2})$

 $DoG_{\sigma,K,h}(x,y,t) = g_h(t)(g_\sigma(x,y) - g_{K\sigma}(x,y))$

- ✓ ↑と同じでもOK、自分独自の 拡張でもOK、ただし単純拡張 はダメ.
- ↑は⇒の様に残像だけなので、 評価時刻でのDoGエッジも出る ようにデザインする<u>と高得点!</u>



補足:

- 先週の演習Ex14.zip内のVideoIO.cxxでカレントフォル ダーの指定は、削除してください. 以下の3カ所です.
- ✓49,67,98行目:./%s/%s ⇒ %s/%s

現在のEx14.zipは修正してありますm(_ _)m

